

【稲城市】

■実施日時：令和3年10月27日（金）15：00～17：00

■参加部署：生活福祉課、児童青少年課、障害福祉課、高齢者福祉課、稲城市社会福祉協議会、地域活動支援センター

■実施内容（取組状況の共有・意見交換等）

（ひきこもり支援の中心部門）

- 現時点では未定。開催のための連絡等は福祉部生活福祉課とした。
- プラットフォームは今後体制を整えていく予定。
- ひきこもり支援については、障害福祉課から委託を受けた市社会福祉協議会が、地域活動支援センターを運営する中で、支援の必要性を感じ独自に開始。ひきこもりだけでなく隙間、狭間の方に包括的な支援が受けられるよう令和4年又は5年までに調整していく予定

（市の動き）

- 各相談窓口での相談は継続。相談が途切れないよう、状況に合わせて、生活福祉課、市社会福祉協議会、地域福祉コーディネーターなどが訪問を実施している。

（市社会福祉協議会の動き）

- ひきこもりに限らず相談事業を委託されており、相談内容によって柔軟な対応を行っている。担当部署は在宅支援係となる。
- ひきこもりサロン とまりぎ（居場所）
 - ・ 毎月2回開催。アウトリーチは月1回又は2回実施。オンライン活動もあり。
 - ・ 職員が1, 2名在籍。14～16時まで自由に活動が可能。
- ひきこもりサポーター養成研修（NPO 法人楽の会リーラ）
 - ・ 全5回実施。2021年度は10名程が参加した。元民生・児童委員の方などが参加。
- ひきこもりに関する講演会なども実施。
- 地域福祉コーディネーターが主として個別対応している。
- NPO 法人楽の会リーラに協力してもらい、ひきこもりに関する取り組みを行っている。

（家族会）

- ひきこもり家族会「ぼの」（社会福祉協議会）
ひきこもり本人への関わり方など、2か月に1回は講師を呼び勉強会を行っている。

（他機関との連携）

- 稲城市発達支援センターレスポ一いなぎ（社会福祉法人 正夢の会）
就学前から成人まで、発達に関わる相談が可能。

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

サポートネットにおける電話相談の傾向について等